



夏におすすめの本



～ こんな夏の本はいかがでしょうか ～



『にっぽん氷の図鑑&かき氷』原田 泉／著 ぴあ 596.6 円

表紙には、かき氷の写真が丸い愛らしい姿で並び、夏の暑さを和らげてくれます。そして、ページをめくると二つ星フレンチから温泉まで、全国52店舗のかき氷写真が紹介されています。また、本書に登場するプロゴラー（かき氷を愛する人）達の調理秘話や流儀、かき氷機開発の話には、かき氷ブームの理由が隠されているようです。滋賀県内は、2店舗紹介されていますよ。



『ワーキング・ホリデー』坂木 司／著 文藝春秋 913.6 円

ホストとして働く大和^{やまと}の職場に、ある日突然「初めまして、お父さん」と小学5年生の少年・進^{すすむ}がやってきます。困惑する大和でしたが、夏休みの間、進と暮らすことを受け入れます。宅配便のドライバーに転職して苦労したり、周囲の個性豊かな面々に振り回されつつも、次第に進と心通わせていく様はほっこりします。続編『ウインター・ホリデー』『ホリデー・イン』もあります。

【ティーンズコーナーにあります】

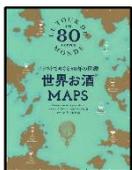
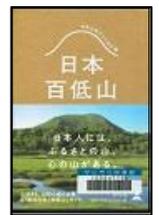
『少女たちの戦争』中央公論新社／編 中央公論新社 914.6 円

太平洋戦争の開戦時、満20歳未満の「少女」だった女性たちのエッセイ集。当時19歳の瀬戸内寂聴さんを筆頭に、佐藤愛子さん、茨木のり子さん、向田邦子さんら27名のエッセイが生年順に収録されています。戦禍の中、弱く小さな存在だった彼女らは、何を思い、どう生きていたのでしょうか。従来の戦争の記録からはこぼれ落ちてしまうような、戦時下の日常を垣間見ることができます。



『日本百低山』日本山岳ガイド協会／編 幻冬舎 291 円

8月11日は山の日ですね。本書には、編者でもある日本山岳ガイド協会の認定ガイド達の執筆により、全国の“低山”100山が紹介されています。その山を知り尽くしたガイドならではのおすすめポイントや詳細なルートなど、山の魅力や役立つ情報が満載です。滋賀県からも2山紹介されますので、この機会にいかがでしょうか？



『世界お酒MAPS—イラストでめぐる80杯の図鑑』 ジュール・ゴベール=テュルパン、アドリアン・グラン・シュミット・ピアンキ／著 ダコスタ吉村花子／訳 グラフィック社 588.5 円

夏といえば冷えたお酒。この本では、世界を旅するように80種類のお酒とその歴史をたどります。はじまりの1杯目はギリシャの蒸留酒ウーゾで、発祥地プロマリを紹介しています。年間生産量、アルコール度数、価格、テイस्टィングの特徴がイラストと共にわかりやすく書かれています。また、お酒にまつわることわざや、著名人の言葉、小説からの引用を紹介しており、後は自分が味わってみるだけ。具体的なデータと絵でお酒の知識を増やしながら世界一周してみませんか。